

稟議書（見本）

1. 提案内容

次世代リーダー育成を目的とした「ミッケル研修」の導入を提案いたします。

2. 現状と課題

当施設では以下の課題が顕在化しています：

- リーダー候補者の不足
- マネジメントスキルの偏り
- 特定職員への業務集中
- リーダーの役割の不明確さ

これらの課題により、組織の持続可能性と介護サービスの質に影響が出ています。

3. 導入目的

- 次世代リーダーの計画的育成
- マネジメントスキルの平準化
- 業務負担の適正分散
- リーダーシップ文化の醸成

4. 導入の必要性和リスク分析

本研修の導入は、当施設の持続可能な運営と質の高いケア提供のために不可欠です。導入しない場合、以下のような深刻なリスクが想定されます：

- 人材流出のリスク**
 - 特定の職員が離職した際、代替となるリーダー候補者不在により、組織の機能が著しく低下
 - リーダー不在による職場環境の悪化が連鎖的な離職を引き起こし、大量離職に発展する可能性
- 職員の健康被害と生産性低下のリスク**
 - 特定職員への過度な負担集中が続くことで、当該職員の体調不良や燃え尽き症候群を引き起こす
 - 中核となる職員の不在により、他の職員への負担が増大し、組織全体の疲弊につながる
- サービス品質低下のリスク**
 - リーダー層の薄さにより、緊急時や問題発生時の適切な対応が困難になる
 - 経験やスキルの伝承が滞り、長期的にサービスの質が低下する
- 経営基盤の脆弱化**
 - 突発的な人材損失に対応できず、安定的な施設運営が困難になる
 - 継続的な人材育成の欠如により、将来的な事業拡大や質の向上が阻害される

これらのリスクは、単に人材育成の問題だけでなく、当施設の存続に関わる重大な経営課題です。

5. チームの課題分析結果

育成対象者を適切に選定するため、「チームの課題分析」を実施しました。詳細な結果は別紙「チームの課題分析結果」をご参照ください。この分析から、以下の重要な課題が明らかになりました：

これらの分析結果は、当施設が直面している具体的な課題を明確に示しています。「ミッケル研修」の導入は、これらの課題に直接対応し、チーム全体のスキル向上と、より質の高いケアの提供を実現する効果的な手段となります。

6. 従来の研修手法の限界

従来の集合型研修では、以下の理由からリーダー育成に限界があります：

- 時代に合わない学習方法**
 - 現代の職員の学習スタイルや情報処理方法が変化している
 - 一方的な講義形式では、知識の定着や実践への応用が困難

2. 現場の負担増加

- ・ 集合研修による業務の中断が現場の負担となる
- ・ 研修と実務の乖離により、学んだことを実践に活かすにくい

3. 形式的な受講

- ・ 受動的な学習になりがちで、主体的な学びや気づきが得られにくい
- ・ 研修内容の実務への反映が不十分

これらの理由から、従来の研修手法ではリーダー育成の効果が限定的であり、新たなアプローチが必要不可欠です。

7. 「ミッケル研修」の特徴と優位性

「ミッケル研修」は、上記の課題を解決し、効果的なリーダー育成を実現します：

- ・ 3年計画での段階的育成
- ・ 隙間時間（週2回15分）を活用した効率的な学習
- ・ イラストを用いた分かりやすい教材
- ・ OJT、チームマネジメント、問題解決力の強化
- ・ 現場の実情に即した実践的な内容
- ・ 主体的な学びと気づきを促す構成
- ・ 柔軟な学習スケジュールによる現場負担の軽減

この研修方式により、現代の学習スタイルに適合し、実践的なリーダーシップスキルの習得が可能となります。

8. 期待される効果

1. リーダー人材の安定的確保（3年で6名育成）
2. 職員の定着率向上
3. 介護サービスの質的向上
4. 組織全体の生産性向上

9. 導入コストと投資回収

初年度投資：

- ・ 研修費用：万円（助成金利用で円）
- ・ 対象者：名

投資回収見込み：

- ・ 人件費の最適化
- ・ 離職率低下による採用コスト削減
- ・ サービス質向上による利用者満足度アップ

10. 導入スケジュール

1. 2025年 月：施設内での課題共有と対象者選定
2. 2025年 月：研修準備、対象者へのオリエンテーション
3. 2025年 月～月：人気者研修の実施
4. 2025年 月～月：新人OJTリーダーひとかじり研修の実施

11. まとめ

「ミッケル研修」の導入は、当施設の長年の課題である次世代リーダー不足を解消し、持続可能な組織づくりを実現する戦略的投資です。従来の研修手法の限界を克服し、現代の学習スタイルに適合した効果的なリーダー育成が可能となります。

本課題は早急に解決すべき喫緊の課題であり、対策の遅れは当施設の将来に深刻な影響を及ぼす可能性があります。限られた予算と時間で最大の効果を得られる本研修の速やかな導入をご検討いただきますようお願い申し上げます。